

収入の補償に安心感

15年前、退職を機に水稲とナシの栽培を始めました。

収入保険に加入するまでは、水稲共済と果樹共済に加入していました。NOSA I職員を通して収入保険があることを知り、果樹と水稲まとめて収入全体が補償されるという安心感に魅力を感じて、加入を決めました。

水稲は、一昨年にウンカの被害、昨年は水害に遭いました。ナシは一昨年と昨年の霜害に加え、コロナ禍による観光ナシ園の集客不足で保険金を受け取りました。

被害が出ると、果樹共済の場合は評価員やNOSA I職員に現地に何度も来てもらう必要がありますが、収入保険は税務申告の書類を提出すれば保険金が計算され、支払いが早いので助かります。

実際に保険金をもらったときは「こんなにもらえた」という感じでした。妻とも「収入保険にとっても救われた。加入していることでストレスが軽減される」と話していました。

今年は順調に栽培できています。収入保険に加入しながら、この調子で頑張ります。

▷水稲244㍏、ナシ60㍏

(農業共済新聞 中国版 2022年10月3週号より)



安芸高田市吉田町 森川 和正さん (70歳)